ブレア・デジタルチャンター

取扱説明書

（日本語版）

翻訳：マクドナルド・ジェームズ健人

目次

重要な情報

安全上のご注意 3
お手入れ方法 3-4
電池 4
保証 5
責任の制限 6
免責事項 6
著作権 6
商標 6

ご使用になる前に

商品登録 7

はじめに

電源入力とナビゲーションシステム 7-8
メニュー画面 9
出力機構 10

楽器の選び方 11

Ghb　グレート・ハイランド・バグパイプ 12
Sml　スコティッシュ・スモール・パイプ 12
Ptc　プラクティス・チャンター 12

メトロノーム

始動方法 13
音量変更 14
テンポ 14
ビートパターン 14

MIDI の使用方法 15

センサーについて

センサー・メニュー 16-17
簡単な設定方法 17-18
センサー・ホール 18

詳細設定

Sensors　（センサー） 19
ALR　（周囲光調節器） 19
Dsp Int　（表示強度） 19
Dsp T/O　（画面タイムアウト） 20
Pwr T/O　（電源タイムアウト） 20
Updater　（アップデーター） 20
Fact Rst　（初期設定） 20
Serial Number　（通し番号） 20

充電方法 20

明細 21

この度は**ブレア・デジタルチャンター（ブレア）**をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるよう保存してください。

安全上のご注意

- ブレアをご使用の際は、バグパイプをご使用されるように取り扱いに注してご使用ください。
- お客様が修理可能な部品はございません。
- ブレアを分解させないよう、ご注意ください。
- 取り外せる部品はマウスピースのみとなっています。 マウスピースを取り外す際は、ねじのように回して抜き、その後大事に保管してください。
- スピーカーやイヤホンを設置される場合は、必ず音量を確認してからご使用ください。
- 高音量にされている場合は、スピーカーやイヤホンなどをそのまま接続しないでください。
- 電源によれば、USB と音声入力を同時に使用された場合、音の歪みが出る可能性があります。

お手入れ方法

- スイッチおよびオーディオ・USB 入力に無理な力を加えないでください。
- 極端な熱や太陽光、または冷たい場所に放置しないでください。
- 水分にさらさないようご注意ください。
- センサーにほこりや汚れが付着しないようご注意ください。
- 液体の近くに置かないでください。

誤動作の原因となる以下の環境ではブレアを使用しないでください：

- 直接または極端な日光が当たる場所。
- 極端な温度や湿度の場所。
- ほこりが多い場所や汚れた場所。
- 振動が激しい場所。
- 磁界が強い場所。

ブレアをきれいにするには：

- 糸くずの出ない柔らかくて乾いた布で本体をきれいに掃除してください。
- きれいな乾燥空気で指穴からほこりを吹き飛ばしてください。
  注：硬いものを使用して指穴を洗浄しないでください

電池

ブレア・デジタルチャンターは、USB を通して充電可能な充電式リチウムイオン電池を使用しています。通常の設定を利用される場合、最大 6 時間まで使用できます。

電源時間を増やすには、画面、メトロノーム、そしてイコライザをオフにしてください。

注：　電池を極端な熱にさらしたり、充電のために特定されていないケーブルを使用したりしないでください。

電池認証：n ICR14500 ・ IEC62133 Rep. NCT17036083I1-1

主な注意点：

- 電池を充電するには、付属の USB ケーブルまたは完全準拠の USB ケーブルを使用してください。
- 本製品の電池は製造業者のみが修理または交換する必要があります。
- 電池が正しく取り付けられていないと、爆発の危険性があります。
- 内部の電池を極端な熱や火にさらさないでください。

電池が少なくなると、誤動作して正しく使用できなくなる可能性があります。

保証

当社（Murray Blair Pty Ltd）は、購入日から 2 年間、本取扱説明書に従って使用および操作された場合、機器に欠陥が発生しないことを保証します。

以下の場合は、本保証が無効になります：

- 機器が当社、または当社が認可した技術者以外に分解および修理された場合
- 本取扱説明書の**安全上のご注意**および**お手入れ方法**の指示に従っていない場合
- 本体の指穴に物が挿入された場合
- 本製品に改変、変更、またはアドオンが追加されている場合
- 不正使用や事故による損傷
- 本取扱説明書に従って電池が正しく設置、または充電されていない場合
- 本製品が不適切な環境（上記参照）で使用され、これが原因で欠陥が起きた場合

保証請求を行う必要がある場合は、以下の手順に従ってください：

1．まず当社にご連絡をお願いします。（メールアドレス：sales@murrayblair.com）

ソフトウェアのアップデートまたは同様のオンライン介入により欠陥が解決れる可能性があります。

2．オンラインで解決できない場合、購入日と購入場所、差出人住所を示す領収書を記載して、下の住所に返品してください。本製品が修理または交換され、差出人住所に送られます。

宛先：　Murray Blair Pty Ltd

住所：　37A Green St, Richmond,
Victoria, AUSTRALIA 3121

責任の制限

オーストラリアの法律で認められている範囲、当社の責任は本保証に基づく本製品の修理、交換、または購入価格の返金に限定されています。

免責事項

電気装置の近くにあると、本製品は誤動作したり、干渉を引き起こしたりする可能性があります。その上、直射日光の当たる場所ではセンサーが誤動作する可能性があります。

著作権

本製品の音声データの著作権は、当社が所有しています。

著作権所有者の書面による事前の同意なしに、いかなる楽器でも音声データを複製または再生することは許可されていません。

商標

Blair™（ブレア）は Murray Blair Pty Ltd（マリー・ブレア株式会社）の商標です。

ご使用になる前に

商品登録

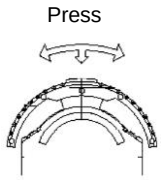
本製品を登録されたら、サポート資料、教育ビデオ、ソフトウェアと説明書の最新版がアクセスできます。

1. ご登録の際は www.blairbagpipes.com/register にアクセスしてください。
2. 購入日と通し番号（シリアル番号）が必要となります。
   通し番号は「Advanced」(詳細設定)の「Serial No.」 にあります。

はじめに

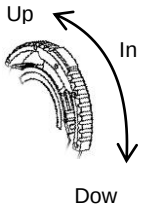
電源入力とナビゲーションシステム

電源を入力されたい場合は、本体のスイッチを押してください。



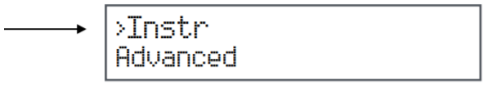
この部品は Navigation Switch（ナビゲーションスイッチ）であり、設定の変更やメニューの選択の際に使われます。

スイッチは「Up」（上）、「Down」（下）、そして「In」（押す）の 3 つの作動方向に分かれています。



スイッチの現在位置は画面に矢印（>）で表示されます。

矢印の位置をご確認されたうえ、スイッチを押せばその項目が選択されます。



設定変更もスイッチを押せばできます。設定変更中に記号（＊）が変更されている設定の左に表示されます。

→
```
*Instr          <Ghb>
```

前の画面に戻るには、「back」を選択してください。

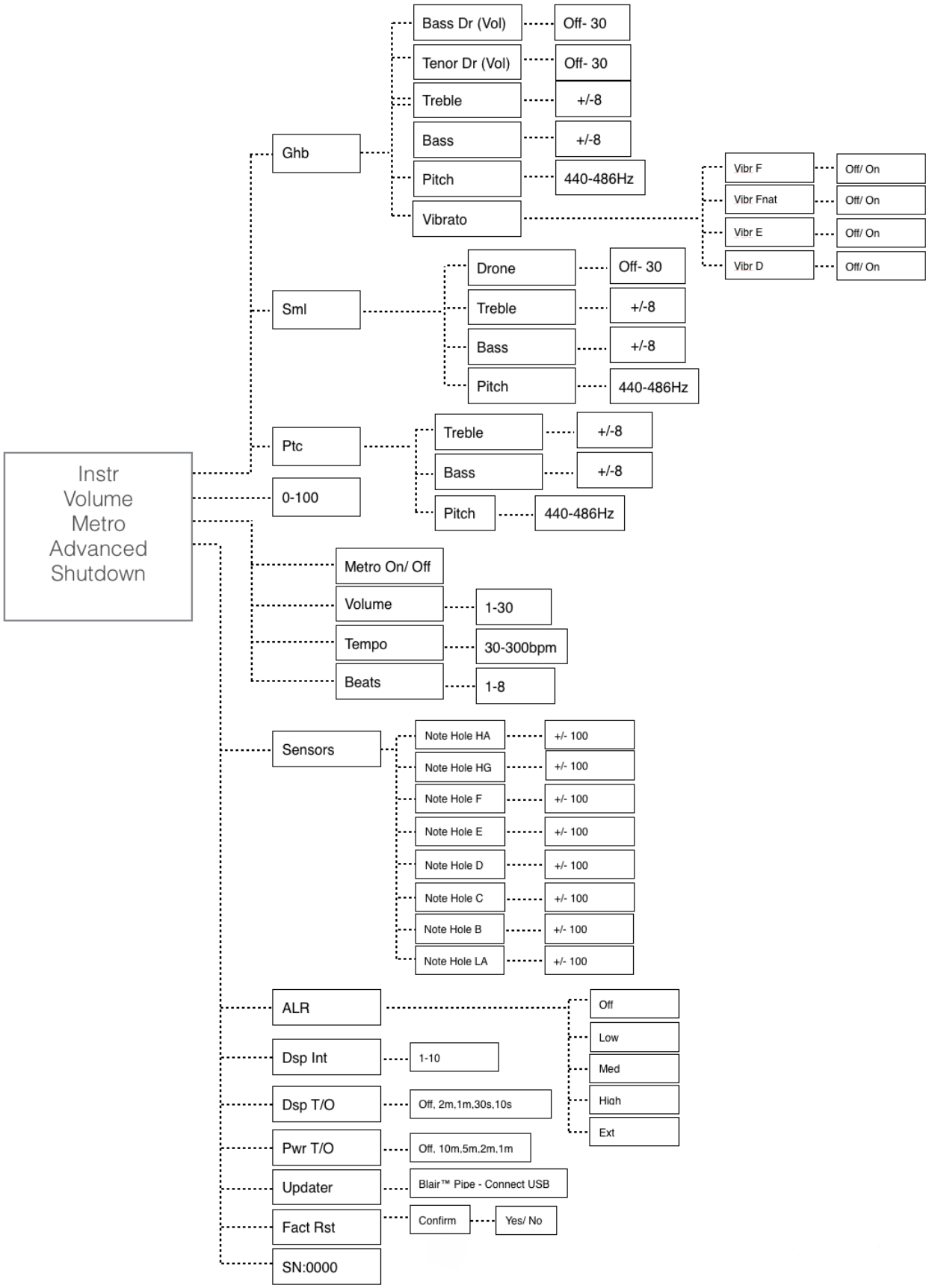
→
```
 Low A          -30
>back
```

電源を切る際は、メインメニューに戻り、「Shutdown」を選択してください。

→
```
Metronome
>Shutdown
```

メニュー画面

メニュー画面は以下のようになっています：



出力機構

ブレア・デジタルチャンターには、マイクロ USB と 3.5mm モノラル端子の２つの出力機構があります。

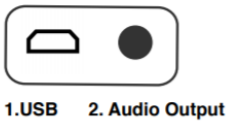
ブレアを使用される場合、まず初めに電源を入力し、音量をご確認ください。

注：　安全にお使いいただくためには、必ず音量を確認してから
スピーカーやイヤホンを入力してください。

（右の図）

１．マイクロ USB ポート

２．3.5mm モノラル端子（メス）、音量 0-100



USB 機能はデータ通信と充電に使用されるため、音は送信されません。USB を通してパスコンや iPad に繋げられたら、チャンターを MIDI として使用できます。

＊音声はモノラルで再生されます。

楽器の選び方

ブレア・デジタルチャンターには 3 つの楽器の音声データが含まれています：

- **Ghb**　グレート・ハイランド・バグパイプ
- **Sml**　スコティッシュ・スモール・パイプ
- **Ptc**　プラクティス・チャンター

楽器を選択するには

メインメニュー画面の「Instr」を選択して、本体に付いているスイッチを 2 回押してください。

```
>Instr          Ghb
Volume          84
```

「Instr」の左の矢印が記号（＊）に変わり、楽器名の左右に矢印が現れます。

```
*Instr         <Ghb>
Bass Dr         14
```

スイッチを上下に動かせば楽器を変更することができます。

お好みの楽器を選択してからスイッチを押せば、矢印（>）が「Instr」の左に戻り、楽器の変更が完了します。

```
>Instr          Sml
Volume          84
```

グレート・ハイランド・バグパイプ

グレート・ハイランド・バグパイプの初期設定でのキー（調）はＢフラットであり、ピッチ（音高）は 480 Hz となっています。

調整が可能な設定：

- Bass Drone Volume　ベース・ドローンの音量　(Off-30)
- Tenor Drone Volume　テノール・ドローンの音量　(Off-30)
- Treble　高音　(+/-8)
- Bass　低音　(+/-8)
- Pitch Change　音高　(440-486hz)
- Vibrato：　ビブラート：
    - D Vibr Off/On
    - E Vibr Off/On
    - Fnat Vibr Off/On
    - F Vibr Off/On

スコティッシュ・スモール・パイプ

スコティッシュ・スモール・パイプの初期設定でのキー（調）はＡであり、ピッチ（音高）は 440 Hz となっています。

調整が可能な設定：

- Drone Volume　ドローンの音量　(Off-30)
- Treble　高音　(+/-8)
- Bass　低音　(+/-8)
- Pitch Change　音高　(440-486hz)

プラクティス・チャンター

プラクティス・チャンターの初期設定でのピッチ（調）は 450 Hz となっています。

調整が可能な設定：

- Treble　高音　(+/-8)
- Bass　低音　(+/-8)
- Pitch Change　音高　(440-486hz)

メトロノーム機能

本品はメトロノーム機能が付いており、楽器の音量と同時にメトロノームの音量も調整することができます。メトロノームは 2 つの打楽器音に加え、8 つのビートパターンから選択することが可能です。

調整が可能なメトロノームの設定：

▪ Volume	音量	1-30
▪ Tempo range	テンポ	1-300bpm
▪ Beats	ビートパターン	1-8

始動方法

メトロノーム・メニューに入るには、メインメニュー画面の「Metro」を選択してスイッチを中に押してください。

```
>Metro
Advanced
```

メトロノーム・メニューに入ると、「Metro」の左にあった矢印が記号（＊）に変わります。「Metro」の右側に「Off」が表示されたら、設定変更が可能です。

```
*Metro        <Off>
Volume         16
```

スイッチを上下に動かすと、「Metro」の設定を「Off」から「On」に変え、スイッチを中に押すとメトロノーム機能が始動されます。始動されるとメトロノームの記号が現れます→

音量変更

メトロノーム・メニューの中でメトロノームの音量を変更することができます。

「Volume」を選択し、スイッチを上下に動かすと音量が変更できます。

```
Metro          On
*Volume        < 16>
```

テンポ

メトロノーム・メニューの中でメトロノームのテンポを変更することもできます。

「Tempo」を選択し、スイッチを上下に動かすとテンポが変更できます。

```
Volume         16
*Tempo         <120>
```

ビートパターン

8 つ選択権の中からビートパターンを 1 つ選ぶことができます。

「Beats」を選択し、スイッチを上下に動かすとビートパターンを変えることができます。

```
Tempo          120
Beats          < 4>
```

ＭＩＤＩの使用方法

ＭＩＤＩ（ミディ）とは、電子楽器の演奏データを機器間でデジタル転送するための世界共通規格であります。ブレア・デジタルチャンターはＭＩＤＩ機能が含まれており、ＭＩＤＩ機器として使用することが可能です。そのため、ＵＳＢを通してパソコンやタブレットパソコンなどに音楽データを転送することができるうえ、バグパイプのフィンガリングを使ってピアノやギターなどの楽器の音が出せます。

ブレア・デジタルチャンターは以下のＭＩＤＩキーにマッピングされています：

Chanter	Low G	Low A	B	C nat	C	D	E	F nat	F	HG	HA	Tenor	Bass
MIDI 音符番号	56	58	60	61	62	63	65	66	67	68	70	58	46

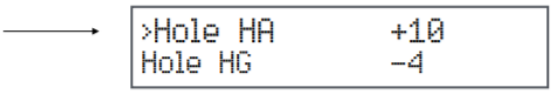
センサーについて

ブレア・デジタルチャンターは各人の指の動きに合うため、特殊なセンサーが本体の中に作られています。このセンサーは指の動きと皮膚の反射に反応し、センサーの数値を変更することでお客様のフィンガリングに丁度合った楽器にすることができます。センサーの設定方法をご理解されたら、より簡単に設定が変更できます。

センサー・メニュー

1. メインメニュー画面から＞Advanced ＞Sensors を選択してください。

2. センサー・メニューの一番上にある「Hole HA」を選択し、スイッチを中に押してください。



3. 「Hole HA」の左にある矢印が記号（＊）に変わっていれば、この時点で編集モードに入っています。選択されたセンサーの現在の数値は、画面の右側に表示されています。スイッチを上下に動かせば、矢印に囲まれた数値を変更させることができ、センサーの強度を調整することができます。

   下の例を参考になれば、「Hole HA」（ハイＡのセンサー）の現在の数値（10）を変更させることができます。

4. 指をチャンターに当て、フィンガリングをしながら選択されているセンサーの数値を調整してください。お客様に合った数値が見つかった際、スイッチを中に押されたらその数値が選択されます。

```
>Hole HA        +20
Hole HG         -4
```

5. メインメニュー画面に戻るには、センサー・メニューの一番下にある「back」を選択してスイッチを中に押してください。

```
 Low A          +6
>back
```

簡単な設定方法

センサーがどのように反応するのかをより理解していただくには、次のようにしてください：

1． まず、「Hole HA」のセンサーの数値を「＋80」に調整してください。

2． ハイＡのホール（指穴）に親指を当ててください。通常のチャンターならハイＡのホールに親指を当てた時点でハイＧの音が出るはずですが、この数値では音がハイＡからハイＧに変わらないことがわかります。ハイＧの音がでるようにするには、数値を調整して、センサーの反応をより敏感にする必要性があります。これは「Hole HA」のセンサーに限らなく、すべてのホールのセンサーに関することです。

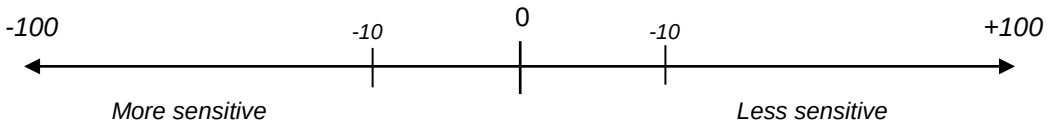
より簡単にセンサーを調整させるには、次のようにしてください：

1. 「Hole HA」をセンサーメニューから選択してください。

2. 親指をホールに当て、ハイＡのグレース・ノート（装飾音）を吹いてください。グレースノートを吹くときに、ハイＡとハイＧが両方とも聞こえるまで「Hole HA」の数値を調整してください。一番適切な数値が見つかったら、スイッチを押し決定させ、「Hole ＨＧ」も同じように試してください。

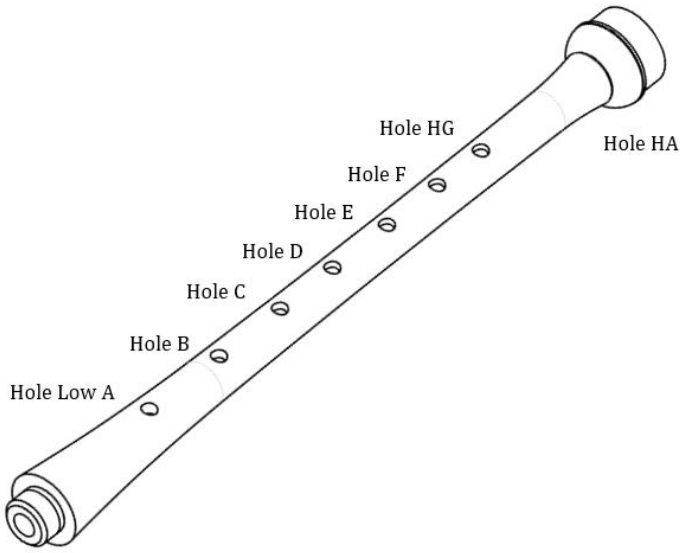
＊センサーの反応をより敏感にさせるには、数値を**低く**してください。例えば、「Hole ＨＧ」が＋4 であれば、－4 などの負の数に変えたら、センサーがより敏感に反応します。同じく、センサーの数値を高くしたら、より鈍感に反応します。

＊細かく調整できるので、指の動きに合った数値を探してください。



３．　各ノート（音符）によってこのような調整をしてください。

センサー・ホール:



詳細設定

ブレア・デジタルチャンターの詳細設定を調整するには、メインメニュー画面の「Advanced」を選択してください。

```
>Advanced
Shutdown
```

次の詳細設定を調整することができます：

Sensors（センサー）

センサーの設定については、「センサーについて」をご参考になってください。

ALR （周囲光調節器）

ALR は周囲の光量により、チャンターの動きを調整させる機能です。直射日光の当たる場所などでチャンターを使用すると、指を当てなくてもセンサーが発する可能性があるため、この機能をご利用されることで光の影響を削減することができます。

ALR は 4 つの段階に分かれています：
low（弱）、 med（中）、 high（強） と extreme（激）

```
>ALR            <med>
Dsp Int
```

直射日光や光の強いところにいるときは ALR を使用することが進められます。室内での使用の際は、ALR を「off」にすることが最適です。

Dsp int（表示強度）

表示強度を調整することができます。

Dsp T/O（画面タイムアウト）

画面が消えるまでの時間を設定する箇所です。画面が消えても、ブレアは通常通りに使用できます。省電力対策として効果的な設定です。画面を再生するには、スイッチを中に一度押してください。

Pwr T/O （電源タイムアウト）

ブレアが使用されていない場合、自動的に電源を切るように設定する箇所です。この設定も省電力対策として効果的な設定です。2 分、5 分、10 分と「off」（設定を使用しない）に設定できます。

Updater（アップデーター）

ソフトウェアアップデートの際に使用してください。

Fact Rst（初期設定）

初期設定に戻りたいときに使用できます。

Serial Number （通し番号）

通し番号を確認できます。

充電方法

ブレア・デジタルチャンターは一回の充電で、設定次第最大 6 時間使用することができます。

ブレアをフル充電（充電 100%）するには、USB ケーブルを USB コンセント（100mA が最適）に差し込み、約 3 ・ 4 時間充電してください。長時間電源切れのままにするとバッテリーに影響する可能性があるので、ご注意ください。

スマートフォンなどの充電に使用されているモバイルバッテリーも利用可能です。

明細

- 音楽ライブラリ
  - ❖ グレート・ハイランド・バグパイプ
  - ❖ スコティッシュ・スモール・パイプ
  - ❖ プラクティス・チャンター
- イコライザ：低音・高音
- 指センサー：８
- 音高範囲：440 – 486 Hz
- メトロノーム（ビートパターン）：８
- MIDI 接続性：USB-MIDI
- 入力：USB x 1（MIDI 機能と充電に使用可能）
- USB 出力：USB x １
- 音声出力：3.5 mm x １モノラル（オス）
- 電力：充電式リチウムイオン電池（USB を通して充電可能）
- 外形寸法：54.3cm x 4.5cm・204g

ブレア・デジタルチャンターは、**FCC** 及び **CE Class B** の規制に準拠しています。